

SPECIAL REPORT

# 高度な医療技術を駆使し 最高水準の治療をめざす。

## 脳神経外科特集

新しくサイバーナイフの運用もスタート。  
脳神経外科の治療をさらなる高みへ。



### CHAPTER 01 転移性脳腫瘍に有効な サイバーナイフ。

2025年4月、いよいよ岐阜県総合医療センター脳神経外科でサイバーナイフを用いた治療がスタートする。サイバーナイフはロボットアームに取り付けられた定位放射線治療専用の装置。ロボットアームが体の周りを動き、患者の体の動きに追従してピンポイントで放射線を照射するもので、脳のほか、前立腺・肺・肝臓がんなどにも適用されている。

「その運用を待ち望んでいた」という村瀬 悟(脳神経外科部長・脳卒中治療科部長)に話を聞いた。「サイバーナイフは1mm以内の誤差精度で、正確に病変部へ照射できます。それだけ周囲の正常組織へのダメージも少なく、高い治療効果を得ることができる。高度な放射線治療を推し進める上で強力な武器になると思います」。では、サイバーナイフはどんな疾患に適用されるのだろうか。「第一に考えているのは、他の臓器で発生したがんが転移してできる転移性の脳腫瘍です。腫瘍のサイズが小さく、数も少ない場合、サイバーナイフでしっかり除去できますし、腫瘍の状態によっては手術と組み合わせることも想定されます。そのほか、脳動静脈奇形(脳の中で動脈と静脈が直接つながり、その部分が塊になる病気)、三叉神経痛(顔の片側が激しく痛む神経痛)など。さらに、転移性では

### CHAPTER 02 一次脳卒中センター！ コア施設の使命を果たす。

外科的治療にサイバーナイフなどを用いた放射線治療を組み合わせ、幅広い脳疾患に対応する脳神経外科。そのなかでもとくに同科が力を注いできたのが、脳卒中に対する治療である。脳卒中は脳の血管が詰まったり破れたりして、脳が障害を受ける病気。治療が早ければ早いほど後遺症を減らせるが、治療が遅れば重い後遺症が残ったり、最悪の場合、命を落とすこともある。そのため、何よりも早期の治療を行うことが必須となる。同院はもともと地域で(一次脳卒中センター)の認定を受け、24時間365日脳卒中患者を受け入れてきた。その認定を一步進め、2024年4月、(一次脳卒中センター)コア施設の認定を取得。地域における脳卒中治療の中心的な役割を担っていくことになった。コア施設は、脳の血管が詰まる脳梗塞に対し、24時間365日tPA(血栓溶解剤)を投与

なく原発性脳腫瘍でも、あまり大きくないものは治療の対象になる場合もありますね。いずれにしても症例に応じて適用を検討し、安全第一に治療を行っていきます」(村瀬)。

村瀬がサイバーナイフに期待するのは、治療効果だけではない。もともと放射線治療は開頭手術に比べて体の負担は少ないが、サイバーナイフはさらに低侵襲だという。「他院で行われているガンマナイフ治療では患者さんの頭部が動かないように、局所麻酔を行って頭蓋骨をピンで固定します。でも、サイバーナイフはある程度、患者さんの動きに追従できるので、ピン固定ではなく、メッシュ状のマスク固定で治療できます。ですから、患者さんの恐怖心も和らぎ、安心して治療を受けていただけると思います」と村瀬はほほえむ。

### COLUMN

●脳卒中の過半を占める脳梗塞。その治療は常に時間との闘いである。発症後45時間以内であれば、tPAの静脈内投与を行う。しかし、太い血管が詰まった場合などは血栓が溶けにくいことから、カテーテルを血管に挿入して血栓を回収する治療法が適用される。

●「手足に力が入らない、呂律がまわらないなどの症状があれば、いつでも躊躇することなく救急車を呼んでほしい」と村瀬は話す。

できると同時に、カテーテルを用いた血栓回収療法を行うことができ、万一の場合はすぐに外科的処置ができる施設である(詳細は、地域医療事情のページを参照)。今回の認定について村瀬は、「認定を受けて、より一層救急隊の皆さんとの連携も深まったと思います。脳卒中の疑いのある人を一分一秒でも早く搬送していただき、適切な治療に繋げることができるように、常に万全の体制でぞんじます」と話す。

最後に、今後の目標や課題について聞いた。「サイバーナイフや血栓回収に用いる医療器具など、医療技術は日々進歩しています。そういった最新医療をいち早く導入し、地域の患者さんに常に最高水準の医療を提供できる脳神経外科をめざしていきたいですね。また、そのためにも若い医師を育て、増やしていくことも課題です。マンパワーを増強し、岐阜県の脳神経外科医療を高度に支える医療機関として、これからも地域医療に貢献していきたいと思えます」。村瀬は力強い口調でそう語った。

### BACKSTAGE

#### 地域の安心・安全を守る 脳神経外科医療の役割。

●脳卒中や頭部外傷など、脳神経外科領域の疾患は一刻を争うとともに、高度な医療技術が求められる。したがって、万一のとき信頼できる脳神経外科はまさに地域の財産といえる存在だろう。

●岐阜県総合医療センターの脳神経外科はその重い責任を十二分に理解し、高度な水準の医療を安定して提供できる体制づくりを推進。地域の医療機関や救急隊と緊密に連携しながら、地域医療の安心・安全を守り続けている。

